

産業廃棄物処理計画書

2022年6月8日

静岡県知事 川勝 平太 殿

提出者

住所：東京都千代田区丸の内一丁目6番5号

丸の内北口ビル20階

氏名：日本食品化工株式会社

代表取締役社長 荒川 健

電話番号：03-3212-9111

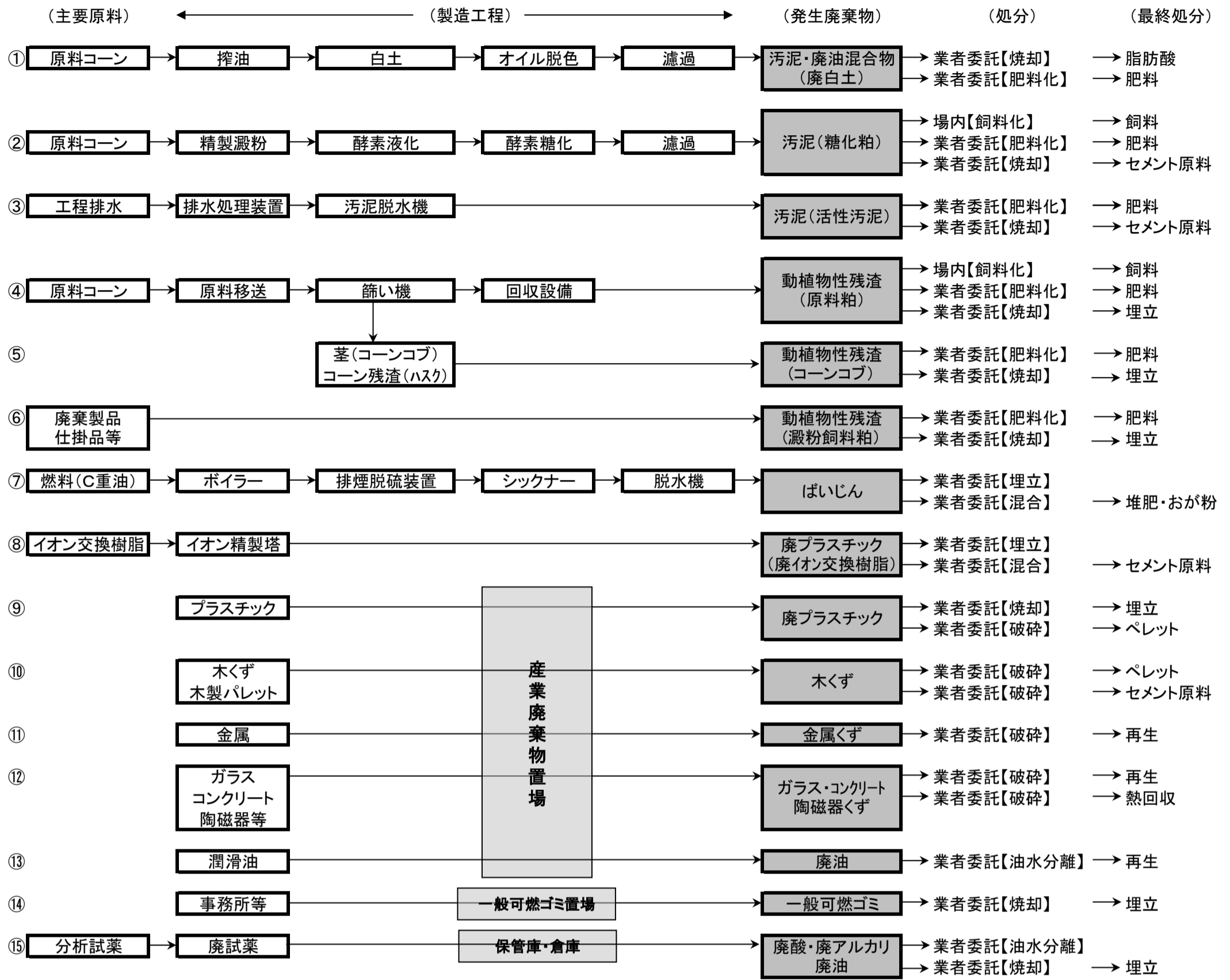
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本食品化工株式会社 富士工場
事業場の所在地	静岡県富士市田島30番地
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	食料品製造業
② 事業の規模	50,610百万円(2021年度売上高)
③ 従業員数	434人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

製造工程における廃棄物発生から最終処分終了までの一連処理工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

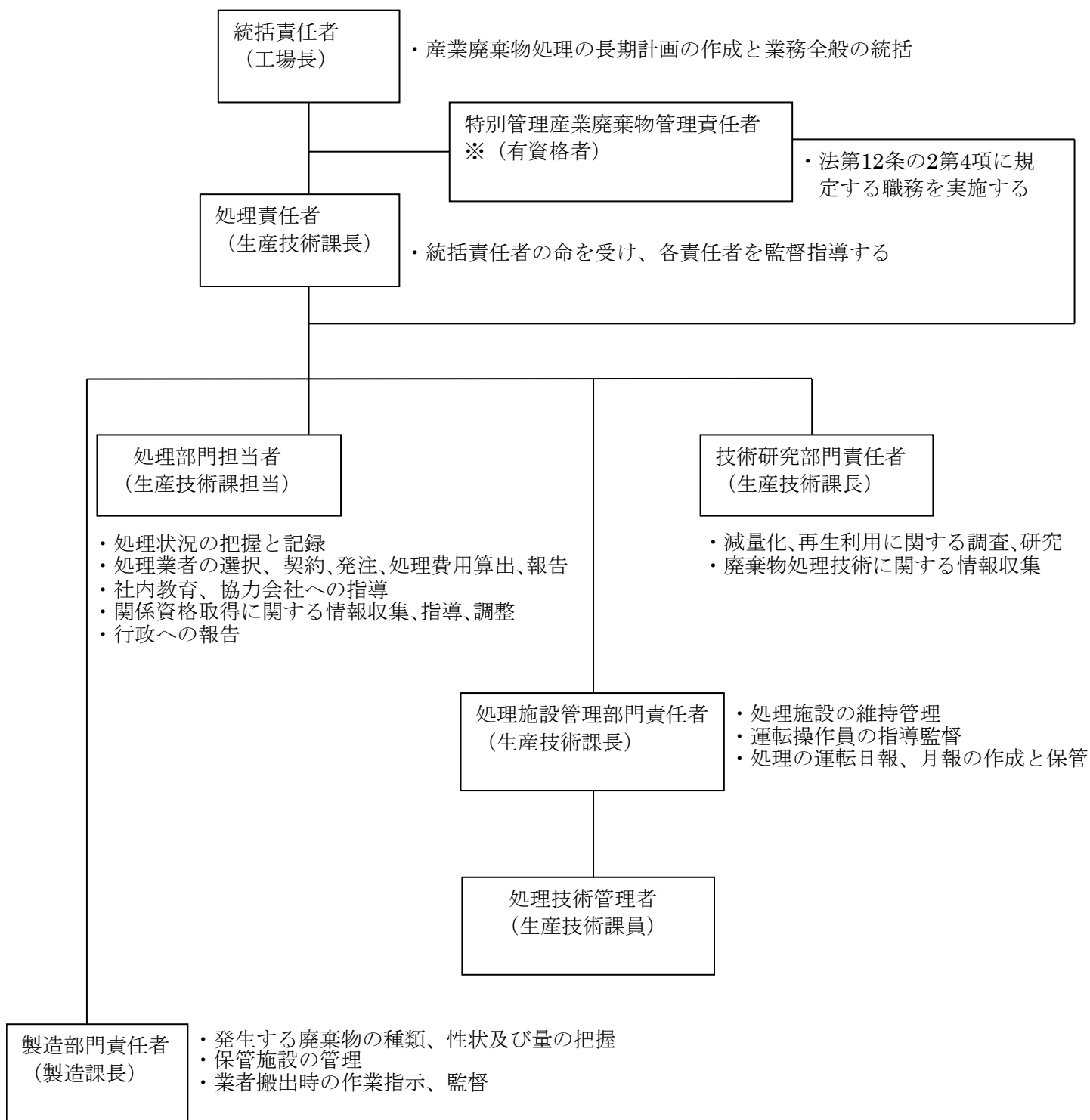
(管理体制図) **別紙2の通り**

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 **別紙4の通り**

①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 全ての産業廃棄物について正確に分別されており問題はない
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) —



①現状

産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	ばいじん	汚泥・廃油	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	木くず	ガラスくず	金属くず	がれき類
排出量(t)	42,133	494	1,030	150	93	0	0	352	54	1.025	0.1	0

(これまでに実施した取組)

- ・中間処理施設にて汚泥・ばいじんを脱水処理し、排出数量を減量

②計画

産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	ばいじん	汚泥・廃油	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	木くず	ガラスくず	金属くず	がれき類
排出量(t)	11,000	490	190	149	90	0	0	350	50	1	0.1	0

(今後実施する予定の取組)

- ・汚泥の発生量を減量するため、汚泥の直接利用を増やす。
 - ・産業廃棄物処理実績報告書にも記載の通り、汚泥及びばいじんの脱水施設については産業廃棄物処理施設暫設仮設史等届出書に廃止として受理されている為、
- 次年度の数量を大幅に低く計画しています

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（糖化粕）	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	4,047 t	—
	（これまでに実施した取組） ・汚泥（糖化粕）を飼料製造工程へ添加することにより再生利用した		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（糖化粕）	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	4,047 t	—
	（今後実施する予定の取組） ・汚泥（糖化粕）の飼料製造工程へ添加量を増やす。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（活性汚泥）	ばいじん
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	31,163 t	835 t
	（これまでに実施した取組） ・汚泥（活性汚泥）及びばいじんを中間処理施設で脱水し、発生量を減量		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（活性汚泥）	ばいじん
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・産業廃棄物処理実績報告書にも記載の通り、汚泥及びばいじんの脱水施設（中間処理施設）については産業廃棄物処理施設軽微変更等届出書にて廃止として受理されている為、次年度の数量は0としています		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	—
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	—
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項 別紙3の通り			
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

別紙3の通り

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

①現状

産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	ばいじん	汚泥・廃油	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	木くず	ガラスくず	金属くず	がれき類
全処理委託量(t)	6,923	494	195	150	93	0.019	0	352	54	1	0.1	0
優良認定処理業者への処理委託量	1,513	103	0	0	90	0.019	0	192	54	1	0	0
再生利用業者への処理委託量	6,923	144	187	150	93	0.019	0	230	54	1	0.1	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0.019	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(これまでに実施した取組)

- ・再生利用業者へ処理委託されていなかった廃棄物について、業者の選定を行い再生利用業者へ処理委託を開始した

②計画

産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	ばいじん	汚泥・廃油	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	木くず	ガラスくず	金属くず	がれき類
全処理委託量(t)	6,900	490	190	149	90	0.010	0	350	50	1	0.1	0
優良認定処理業者への処理委託量	1,600	110	0	0	88	0.000	0	200	50	1	0	0
再生利用業者への処理委託量	6,900	150	190	149	90	0.010	0	240	50	1	0.1	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	1	0.010	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(今後実施する予定の取組)

- ・再生利用業者へ処理委託されていない廃棄物について、再生利用できる業者の選定を行う